

Solan Primary School
4th grade news letter

Venture Fourth

2023 Apr. 11

いざ、4年生のはじめての授業へ

雲がかがやいている。
林の上で
みんなのほおもかがやいている
湖のほとりで。
あ、今、太陽が
山をはなれた。

初日の5時間目は早速の授業開き。教科は国語です。

教科書の最初のページにある『かがやき』という詩を扱いました。

まずは、音読です。

音読は、国語だけでなくすべての学習を進めていく上でも肝となる学習技能です。

声の出し方、スピード、姿勢、視線の動かし方等々、一つ一つのポイントをこれから4年生バージョンにカスタマイズしていきます。

金曜日はまず、バリエーションをつけて読み込みました。

追い読み（先生について読む）

教師と交代読み（一文ずつ先生と交代で読む）

グループ交代読み（グループごとに交代で読む）

男女交代読み（男女で交代で読む）

タケノコ読み（読みたい行を選び、起立して読む）

一人読み（自分のスピードで一人で読む）

一斉読み（全体で声をそろえて読む）

一つの読み方だけでなく、バリエーションをつけることで、子どもたちはとても楽しそうに音読に取り組みました。

また、声の質もスピードもわずか数分で見違えるほど上達し、みんなの勉強に対するやる気の高さがうかがえました。

続けて、暗唱です。

プロが作った作品を誦んじることが、美しい日本語のリズムが身につくだけでなく、文章力の向上にも大きく寄与します。

実は、ここで大きなドラマがあったわけですが、詳しく書くとこれまた通信一枚分になるため別号に回します。

暗唱のあとは、教材の「解釈」です。

易から難の組み立てで、次の4つのことを問いました。

○ 題名は何ですか（かがやき）

○ 何連からできている詩ですか（3連）

○ 林の上で輝いているのは何ですか（雲）

○ 湖のほとりでかがやいているのは何ですか（みんなのほお）

ここまでは比較的テンポよく問うていきました。

易から難へと徐々にステップアップしていく王道の授業展開です。

そして、次の5つ目が本丸の問いです。

○ この詩は、朝昼夜のうち、いつのことを書いた詩ですか。

まずは、自分の立場を決め、拳手で立場を確認しました。

朝が8、昼が5、夜が9という結果になりました。

その上で「自分が絶対にちがうと思うもの」を一つ選び、反論を考えることにしました。

反論の書き方のフォーマットは与えたにせよ、驚きの意見が続出しました。

出てきた意見を紹介します。

「昼は違います。なぜなら、『あ、今、太陽が山をはなれた』と書いてあって昼は山をはなれないと思うからです。」

「夜は違うと思います。教科書の背景が全然違うからです。」

「背景で判断しているけど、教科書の紙がただ白いからそうなっているんだと思います」

「僕は昼は絶対違うと思います。なぜなら、昼なら太陽が高く上っていて、山から離れないと思います。これは絶対朝です。もし夜なら「太陽が山に入ってしまった」って書いてあるはずなんですよ。これは太陽が山から出てきたってことなので、朝だと思います。」

「どう考えても夜は違うと思います。『山を離れた』というのは、日の出なんですよ。山に向かっていくのが日の入りなので、夜は違います。で、昼を選ばなかった理由は、正午って太陽は真上なんです。山を離れた時なら、そこまで高くないので朝だと思いました。」

「夜は違います。「太陽がはなれた」と太陽が見えているので、夜ではないと思います。」

「僕は、〇〇くんの意見を聞いて、朝に変えました。なぜ昼から
変えようとしたかっていうと、林の上で輝くのは、朝くらいの太陽
の高さだと思ったので朝に変えました」

子どもたちは、次々と立って発表しました。

お互いに譲り合いながら。

私が指名しなくても次々と発表が続く姿に、そしてこちらの想定を大きく超える意見群に、これからの一年が本当に楽しみになりました。

たった6行の詩から、これだけ活発に議論が交わされるクラスには中々お目にかかれません。

私にとっても本当に印象深い1時間となりました。

こうして授業を終えてから、4年生となって初日を過ごしてみた感想を簡単に作文することにしました。

いくつか、紹介します。

今日、始めて4年生として一日過ごしてみたら、昼休みのベーゴマが一番楽しかったです。とくにベーゴマが回りそうだったのがうれしかったです。ありがとうございました。

はじめてわたなべ先生にあって、おもしろかったことは、クイズや国語がおもしろかったです。クイズはふつうの先生は出してくれないし、国語は答えを出さずにゆっくりかんがえさせてくれるからです。これからよろしくおねがいします。

昼もドッジボールが出来て楽しかった。わたなべ先生の国語の授業が笑顔いっぱい楽しかった。もっとやりたかった。

学校でヴァイオリンをひいたのが初めてだったから、たのしかった。わたなべ先生もおもしろい先生だったからうれしい。

せんせいとはじめてこくごをしてとてもたのしかったです。せんせいがきび

しいせんせいだとしんぱいしていましたが、せんせいがとてもやさしいせんせいであんしんしました。

3年生よりべんきょうはむずかしいけど、わたなべ先生とべんきょうできたのしい。ベーゴマのやりかたもおしてくれまし、小学生でいちばんたのしいじゅぎょうでした。

きょういちばんいんしょうにのこったことはベーゴマをやったことと、バイオリンなどをしたことです。ベーゴマのひもをつけることはむずかしかったけれどなんかいもやったらできた。明日はまわしたい。バイオリンもあまりひけなかったけれどはじめてだったからたのしかった。こくごもいままででいちばんたのしかった気がしました。はじめての4年生とてもたのしかったです。またベーゴマおしえてくれえー。

今日の国語が人生で一番おもしろかったです。

やすみじかんにギターやいろいろながっきをひくことができうれしいです。あしたウクレレとたいこをもってこれるからすごくうれしいです。はじめて、こくごがたのしくなりました。

他の人のいけんをきいて、ゆうたくんと、かいえんくんのいけんがすごくささって、おもしろいこくごだった。わたなべせんせいはいがいとやさしいせんせいだった。こんどベーゴマいっしょにやらせてください。

国語の授業だけでなく、休み時間のふとしたやり取りや、教室の隣にある「第二スペース」での遊びなどのことについて記した子が多かったです。

お伝えしたいことがまだまだ山ほどあるので、これから学年通信を通じて少しずつ紹介していく予定です。